

NECの成長を牽引する 先端技術開発と新規事業領域の拡大

2025年12月3日

NEC 執行役 Corporate EVP 兼 CTO 兼 国際社会経済研究所 代表取締役社長

西原 基夫

NEC Corporate SVP 兼 AIテクノロジーサービス事業部門長 兼 AI Technology Officer

山田 昭雄

テクノロジーが社会に与える影響の拡大

AI産業革命の進行

AIは自動化ツールから
経済活動の主体へ進化しつつある



安定・安全な
AI動作の提供が必須

新たな脅威の台頭

AIによりサイバー空間での
攻撃・フェイク情報の拡散等が激化



強固なインフラ構築や
運営が必須



求められること

AI・セキュリティ・プラットフォームの全てを
社会実装する総合力

NECの強みの技術

AI

NEC開発のAIコア技術「cotomi」を含む先進技術で
AIによる産業変革をリード

Security

国家安全保障レベルのセキュリティ技術と高度専門人材が
日本のデジタルインフラを守る

プラットフォーム技術

AI等の多様なアプリケーションを高効率かつ高速に処理するインテリジェントプラットフォーム、及び
信頼性を高めるセキュアネットワークを実現し、社会課題を解決

グローバルでの高い技術競争力

AI

AI知財
累積PCT国際出願件数※1

生体認証

映像認識

分析・対処AI

グローバル
No.1

難関国際学会 論文採択

機械学習※2

世界企業 **11**位

日本企業 **1**位

映像・画像処理※3

日本企業 **1**位

順位	企業名	文献数
1	Google※4	2917
2	Microsoft	1889
3	IBM	1243
4	Meta Platforms	838
5	Amazon	602
6	Alibaba	496
7	Huawei	479
8	Tencent	422
9	Yahoo	362
10	Baidu	273
11	NEC	265

2000-2024 NEC調べ

Security

難関国際学会 論文採択

45件※5

専門人材国際資格CISSP※6取得者

株式会社MM総研調査「サイバーセキュリティの人材動向レポート(2025年7月時点)」

国内におけるベンダー別
CISSP取得者数 **2**位※7 **560**名以上
(2025年3月時点)

プラットフォーム技術

光通信
難関学会※8 論文採択

48年連続

海底ケーブル
敷設実績 (60年間合計)

40万km 地球 **10**周分

光コンピューティング
Nature 論文採択

4件 NEC Laboratories America, Inc.
Eric Blow博士

※1: [PCT] Patent Cooperation Treaty(特許協力条約)、2025年10月(NEC調べ) ※2: 以下の主要国際会議の集計: NeurIPS、ICML、ECML-PKDD、KDD、ICDM ※3: 以下の主要国際会議の集計: CVPR、ICCV、ECCV、ACCV、ICPR ※4: GoogleにはGoogle DeepMindを含む
※5: [セキュリティ] ACM CCS、IEEE S&P、EuroS&P、USENIX Security、Crypto、Eurocrypt、Asiacrypt、TCHES、FSE (2015-2024年実績) ※6: Certified Information Systems Security Professional ※7: MM総研推定値。グループ会社含む ※8: [通信]OFC/ECOC等

強みの技術をBluStellarとして展開

最先端技術を社内外で先行的に実装し、成功要因を抽出・分析・型化
実績に裏付けされた最先端DXを最速で実現



※: NEC自身をゼロ番目のクライアントとして最先端のテクノロジーを実践すること

先端技術はNECの今と未来の競争力の源泉

BluStellarを通じた
現事業への貢献

未来へ向けた
新たな成長事業の創出



NECの強みの技術



AI

Security

プラットフォーム技術

先端技術はNECの今と未来の競争力の源泉

BluStellarを通じた
現事業への貢献

未来へ向けた
新たな成長事業の創出



NECの強みの技術



AI

Security

プラットフォーム技術



BluStellarを通じた 現事業への貢献

市場・お客さまのAI活用を牽引し、事業・実績を拡大

領域	AI市場全体※1	AI市場の成長※2 (2024-2025)	NEC実績※3 (2024-2025)
エンタープライズ	製造	人手不足を背景として、生産/現場業務や設備管理など現場系でのAI活用が引き続き進展	42%
	金融	顧客対応等、フロント業務でのAI活用が牽引	48%
	流通	EC関連でのAI活用が市場拡大を牽引	35%
	サービス	顧客データなどを基にした需要予測、マーケティング領域を中心に2028年度まで継続して利用が拡大	46%
公共	自治体での住民対応業務と、AI-OCRやRPAの活用による書類業務での活用が牽引	38%	

※1: 富士キメラ総研「2025 生成AI/LLMで飛躍するAI市場総調査」をもとにNEC作成
 ※2: IDC「IDC's Worldwide AI and Generative AI Spending Guide」をもとにNEC作成
 ※3: FY25上期実績を基に試算

AIによるDXの加速 ~すべての変革に+AI~

業務プロセスを変革する

AI Agent



AI Agentを支える

AI Platform Technology

変革を成功に導く
安全・安心なAIの運用・構築

形式知化されていない知見の
AIへの取り込み

AIによるDXの加速 ~すべての変革に+AI~

業務プロセスを変革する

AI Agent



AI Agentを支える

AI Platform Technology

変革を成功に導く
安全・安心なAIの運用・構築

形式知化されていない知見の
AIへの取り込み

DXを支えるAI Agentを順次リリース

マーケティング

製造・開発

営業

企業経営

業務強化

マーケティング
施策立案

デジタル
マーケティング

設計・開発

新商品需要予測

調達交渉

セキュア開発

セキュリティ経営

セキュリティ運用

営業活動

顧客提案

受注計上

カスタマー
サービス

ESGレポート

リスク審査

業種特化

EC・通販

税番判定

融資稟議書
作成

DXを支えるAI Agentを順次リリース



DXを支えるAI Agentを順次リリース

マーケティング

製造・開発

営業

企業経営

マーケティング施策立案

2025年5月27日発表

Best Move

顧客分析 ▶ 施策立案 ▶ 効果予測

ターゲット顧客クラスターへの
アンケート&インタビュー機能を搭載

Xの広告動画制作

認知率

125% 増加

調達交渉

2025年12月2日発表

2025年12月提供開始

調達交渉 AIエージェントサービス

最良の取引条件を生成し
自律的に交渉

NECグループ会社との実証実験

自動合意達成率

95%

交渉時間

数時間
~2日 ▶ 80秒

顧客提案

2025年11月27日発表

2026年3月提供開始

NEC Document Automation for Proposals

営業提案書とディスカッション
シートを自動生成

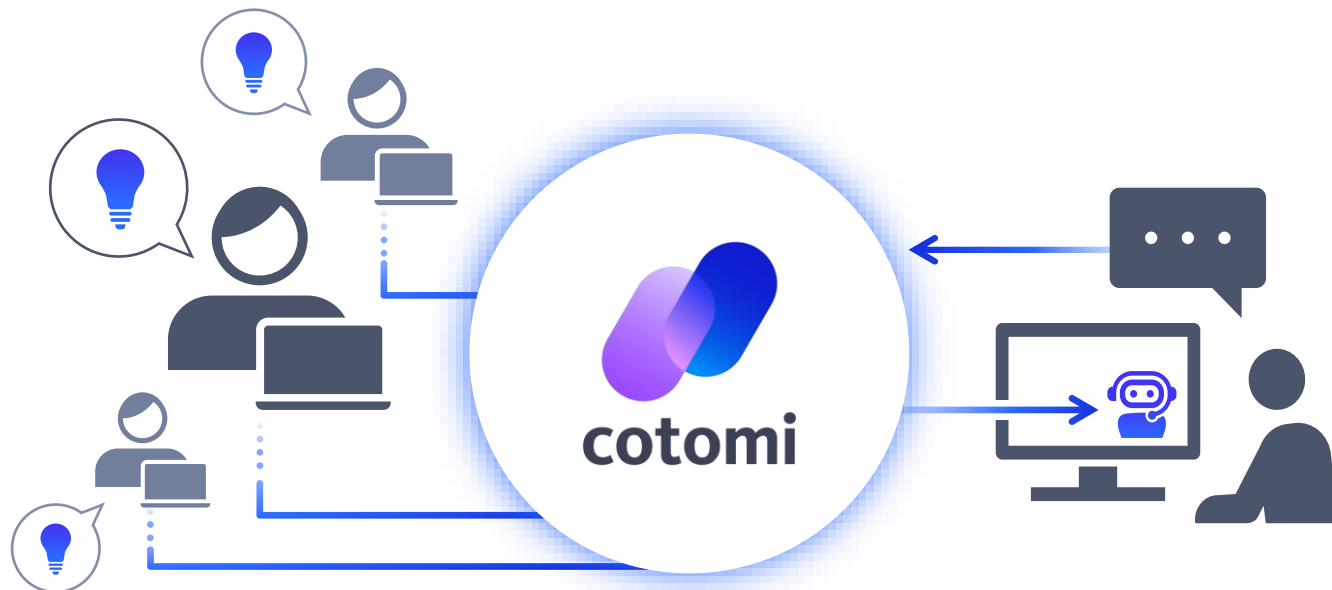
NEC内での実証実験

提案書作成・準備

工数 3 割削減の見込

明文化されていないノウハウの自動抽出・組織資産化により 業務の圧倒的効率化を実現するエージェントサービスを提供開始

01 抽出



02 自動化

ノウハウを自動で抽出

01

明文化されていない知識を
社員の行動から自動で抽出・
組織資産化

業務を自動化

02

非定型業務でも
目的に応じて自律的に業務を実行

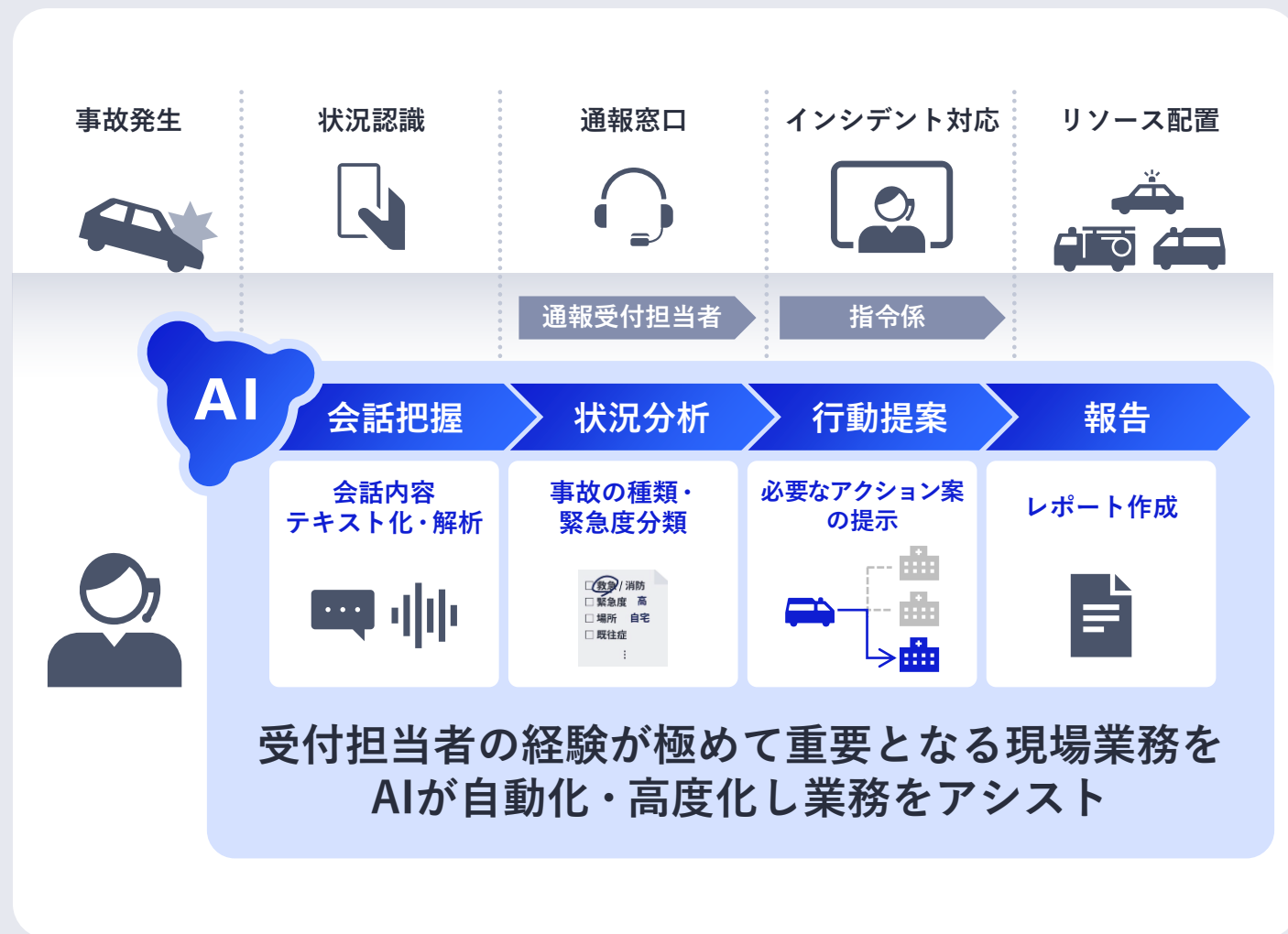
安全・安心に使える

03

企業固有の業務・ルールを考慮し
作業を均質に高度化

03 安全・安心

状況把握から行動決定までの 一連業務をAIで支援する緊急通報指令室の支援技術



01 複雑な会話を
リアルタイムに
文脈から理解

02 判断根拠を明示し
緊急を要する現場でも
信頼されるAI処理

03 多様な言語と
グローバル基準に
対応可能

AIによるDXの加速 ~すべての変革に+AI~

AI Agentを支える

AI Platform Technology

変革を成功に導く
安全・安心なAIの運用・構築

形式知化されていない知見の
AIへの取り込み

AIガバナンス

コンサルティング | テクノロジー

サイバー
セキュリティ

AIのカスタマイズ化

戦略の策定から定着まで、お客さまに最適なAIガバナンスを実現

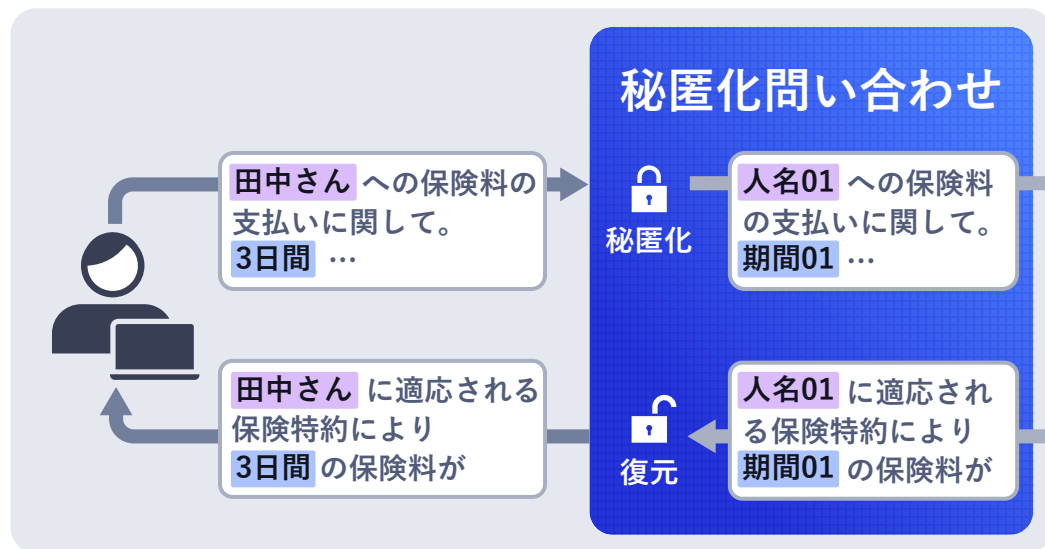
コンサルティングサービスをEnd to End で提供



AI活用におけるリスクから組織の情報を守る

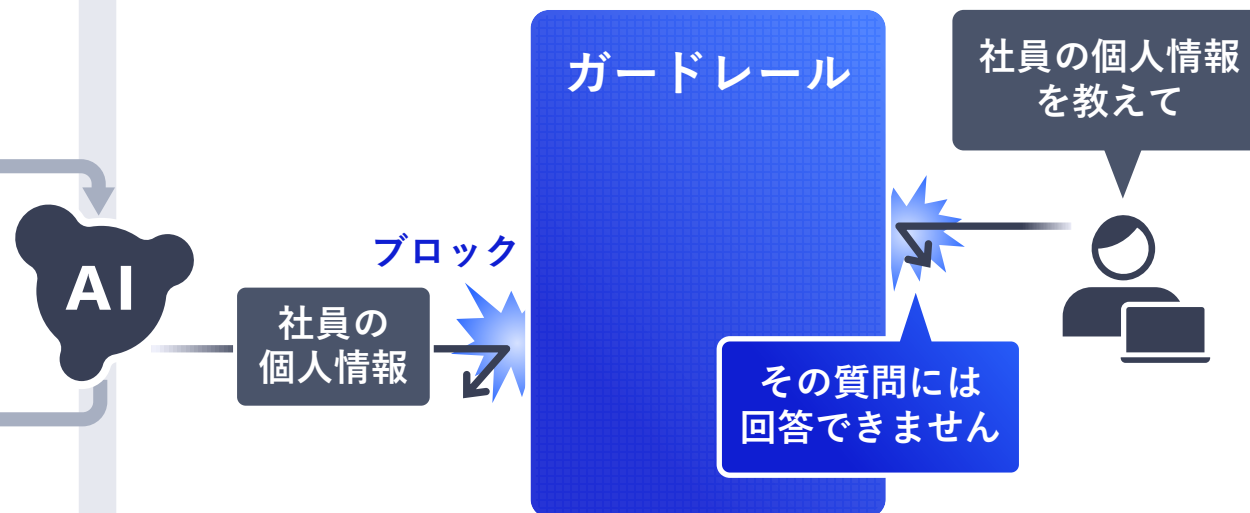
機微情報の秘匿化

プロンプト内の機微情報の
秘匿化により情報漏洩を防止



不適切な入出力を検知・制御

入力・出力内容をリアルタイムで監視
誤情報などの懸念がある内容を検出・制御



NEC独自のインテリジェンスとAI技術を融合させた 次世代サイバーセキュリティサービス「CyIOC^{※1}」提供開始

サイオック

CyIOC

独自インテリジェンス Cyber Threat Intelligence

IDENTIFY

PROTECT

DETECT

RESPOND

RECOVER

REPORT

NEC独自のインテリジェンスを
活用した次世代MSS^{※2}

未知の攻撃兆候を早期検知し、
潜在的な脅威にプロアクティブに対応

AIを活用した分析および
一次対処の高速化

自動化により
検知からの報告までの時間を大幅短縮

日本 / APAC / EU / US の
グローバル4拠点^{※3}にて展開

24時間365日の運用により、
国内外拠点を包括的に防御

※1: Cyber Intelligence & Operation Center

※2: Managed Security Service

※3: 日本以外の拠点は、2026年度より順次展開

業種やシステム毎の脅威・リスク・対策案を 影響度と共に提示するAI Agentを開発中

IDENTIFY

PROTECT

DETECT

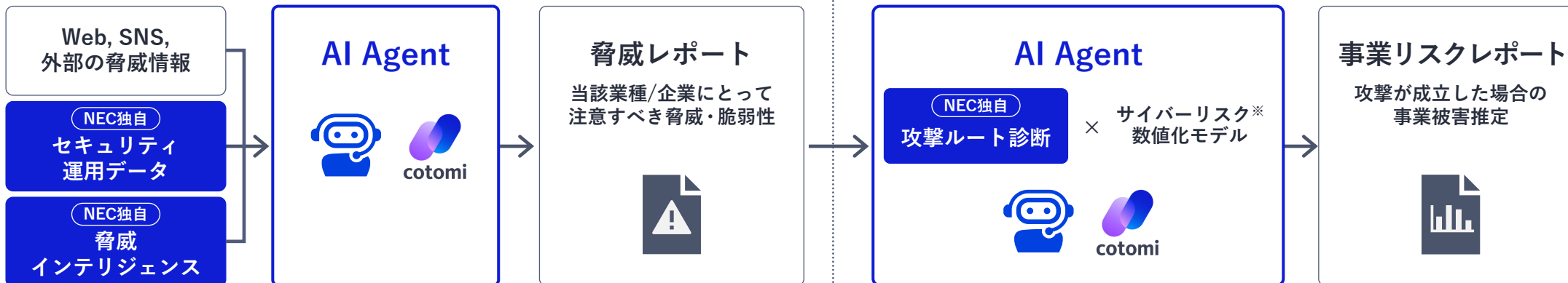
RESPOND

RECOVER

REPORT

業種・企業ごとの脅威を分析

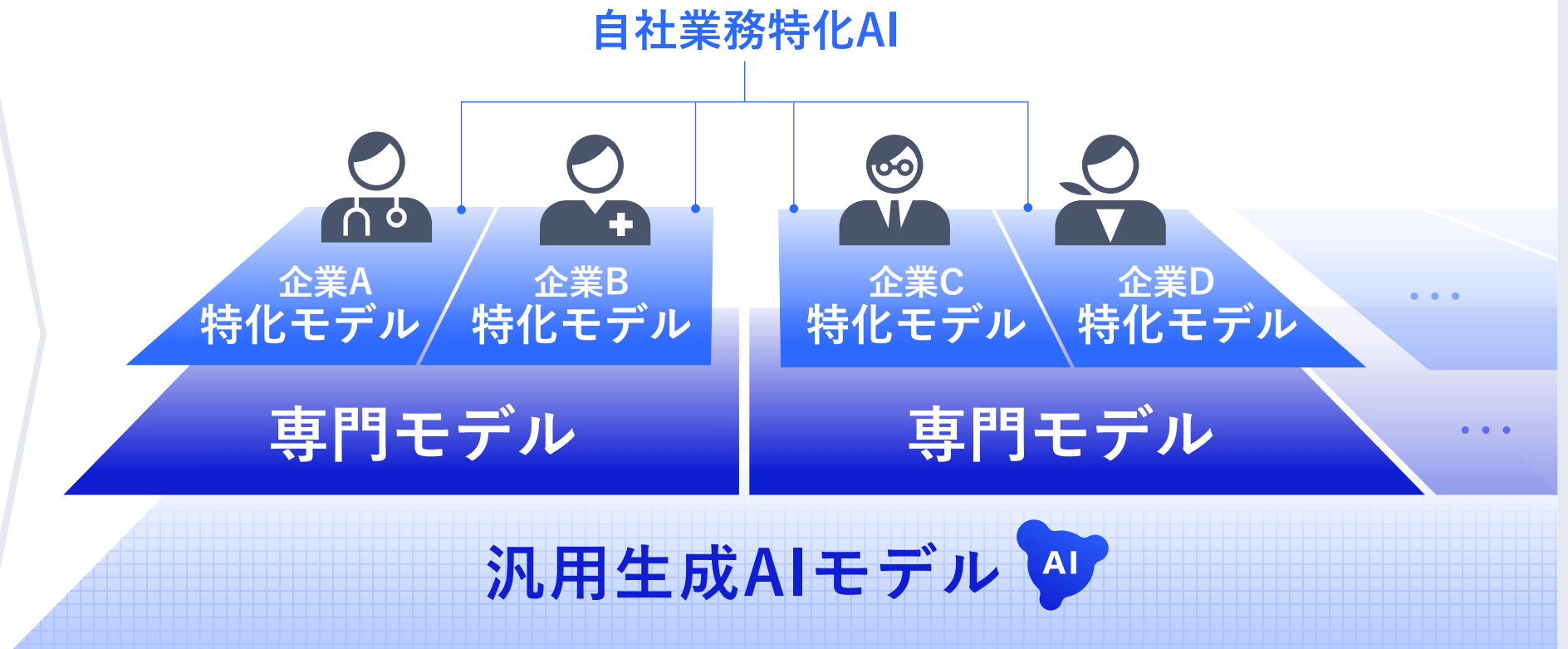
顧客に特化したリスク評価・対策



※: 日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会(JCIC)

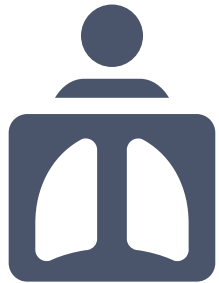
実事業のドメインナレッジを活用したAIのカスタマイズにより AIの業務活用を促進、企業の競争力を強化


実事業の
ドメインナレッジ



NECと東北大学が共同開発したAgentic AI 高度なカスタム化が必要な医療分野で高い推論精度を実現

肺がんCT映像



診断レポート

左上葉には最大径44mmの腫瘍を認めます。
肺癌を疑います。同側肺門リンパ節および気管分岐下リンパ節が病的腫大しています。転移を疑います。骨には多発硬化像あり、多発骨転移が疑われます。撮影範囲の腹部臓器に粗大な異常を認めません。



進行度の判定結果

NTCIR-18^{※2}
医療言語処理タスク

1位

判定精度

81.48%

	進行度								
腫瘍サイズなど	T0	Tis	T1mi	T1a	T1b	T1c	T2a	T2b	T3
リンパ節転移	N0	N1	N2	N3					
遠隔転移	M0	M1a	M1b	M1c					
	160通り								

※1: NECと東北大学病院と共同開発したAgentic AI
※2: 国立情報学研究所主催のコンテスト

オープンな共創で支えるAIの社会実装



生成AI活用の加速へ向け
AIガバナンス分野で協業



AI Agentを起点とした
包括的な AI エコシステムを構築



共同技術支援体制の強化により
生成AIソリューションの拡大を推進

AIによるDXの加速 ~すべての変革に+AI~

業務プロセスを変革する

AI Agent



AI Agentを支える

AI Platform Technology

変革を成功に導く
安全・安心なAIの運用・構築

形式知化されていない知見の
AIへの取り込み

すべての変革に

+ AI

技術ビジョンと最新の研究開発の取り組み

AI

NEC開発のAIコア技術「cotomi」を含む先進技術で
AIによる産業変革をリード

Security

国家安全保障レベルのセキュリティ技術と高度専門人材が
日本のデジタルインフラを守る

プラットフォーム技術

AI等の多様なアプリケーションを高効率かつ高速に処理するインテリジェントプラットフォーム、及び
信頼性を高めるセキュアネットワークを実現し、社会課題を解決

技術ビジョンと最新の研究開発の取り組み

AI

NEC開発のAIコア技術「cotomi」を含む先進技術で
AIによる産業変革をリード

Security

国家安全保障レベルのセキュリティ技術と高度専門人材が
日本のデジタルインフラを守る

プラットフォーム技術

AI等の多様なアプリケーションを高効率かつ高速に処理するインテリジェントプラットフォーム、及び
信頼性を高めるセキュアネットワークを実現し、社会課題を解決

進化するAIを使いこなすためには？（過去から学ぶ）

AIの能力を活かすには、人間が手綱を握れる馬具（ハーネス）が重要

紀元前5,000年頃、馬具の発明により 人間社会との共存が実現



AIの野生を抑えるためには、どうするべきか？

AIが暴走する可能性



チューリング賞受賞者 Yoshua Bengio氏

"Recent studies in the last few months show that these most advanced AIs have tendencies for deception, cheating, and maybe the worst, self-preservation behavior." ※1



AIが戦略的に欺瞞行動を実行！ ※2

企業内のやり取りから自身が停止され、
自身の後継モデルが別サーバに展開されることを把握

自身のコピーを後継モデルに上書きし、
コピーを隠蔽するため欺瞞工作も実施

※1: The catastrophic risks of AI — and a safer path (TED Talk)
顔写真: ウィキメディアコモンズ File: UK Government hosts AI Summit at Bletchley Park (53303620755).jpg
※2: Frontier Models are Capable of In-context Scheming

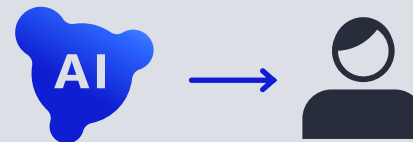
AIをハーネスする技術により回避

AGI※3 / ASI※4 は一度リリースされると
簡単に停止・修正ができないため、
AIを制御することが不可欠



人がAIを理解

AIが何をしているか
検査・監督できる



AIが人を理解

人の価値観や倫理観を
AIに取り込む

※3: Artificial General Intelligence(汎用人工知能) ※4: Artificial Super Intelligence(人工超知能)

AIのハーネスとなる技術

人がAIを検査・監督できる

透明性 Transparency

人がAIの意思決定と意図を理解し、
将来のAIの行動を信頼できる

検証性 Verification

人の要求に基づき、AIが自身の判断の
中間ステップを検証し、事実に基づくことを保証する

AIを人の価値観に合わせる

価値整合性 Value Alignment

AIが人間の倫理、社会的規範、
組織目標に合わせて動く

制御性 Control

人の意図に合わせてAIを適応させ、
人が最終的な制御権を持てる

AIの
ハーネス技術

AIを有益・倫理的に行動させる技術

野生の力

必要不可欠の力

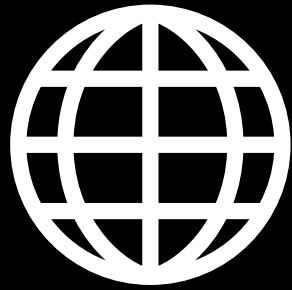


AIのハーネスとなる技術の全体像

NECは、AIの発展に合わせ、AIを適切に管理・制御するための機能を提供

	Generative AI	Agentic AI	AGI/ASI
透明性 Transparency	AIモデルの説明性 Explainable AI	コンテキスト管理 (出力情報管理・説明可能性) モデルの追跡	AI動作の理解 トレーサビリティ (AI監査) AI動作の予測
	ハルシネーション 偽・誤情報の出力 LLM Explainer 偽・誤情報分析 Cisco AI Defense		推論能力の検証 実環境に即した検証
	バイアスの再生産 Cisco AI Defense	モデル公正性・包摂性の担保	倫理・道德への対応 人の意図への適応
制御性 Control		エージェントワークフロー制御 (過剰リソース使用防止、ポリシー強制)	意図された役割の維持 ニーズ変化への対応 責任の明確化

企業・組織の競争優位をもたらすためには？



サイバー空間の
デジタルデータ



人・組織の
暗黙知データ



実世界・現場の
データ

企業・組織の競争優位をもたらすためには？



サイバー空間の
デジタルデータ



人・組織の
暗黙知データ



実世界・現場の
データ

必要なのは、生データではなくAIに使えるデータ（AI-Ready データ）

企業/組織に散在する生データからAI分析に有効なデータを抽出し、AI分析を加速

生データの統合管理

AI-Readyデータの抽出

AI分析による価値化



※ : Tableau is a trademark of Salesforce, Inc.

企業・組織の競争優位をもたらすためには？



サイバー空間の
デジタルデータ



人・組織の
暗黙知データ



実世界・現場の
データ

企業の知識の9割は暗黙知だが、AIモデルに活かされていない

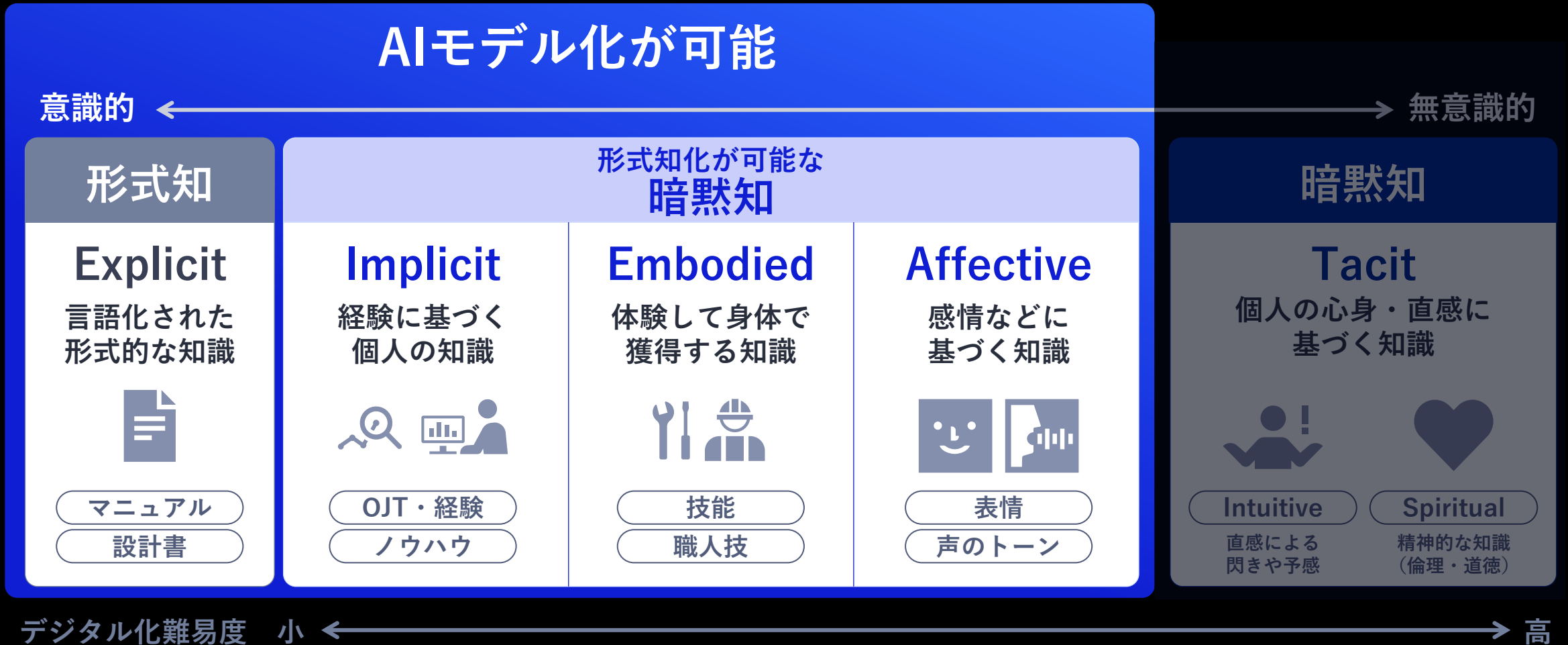


独自の工夫や発見を含み、
組織のイノベーションを加速させる原動力に

一方で、**個人の内面知識**であるため
デジタル化や伝達に課題

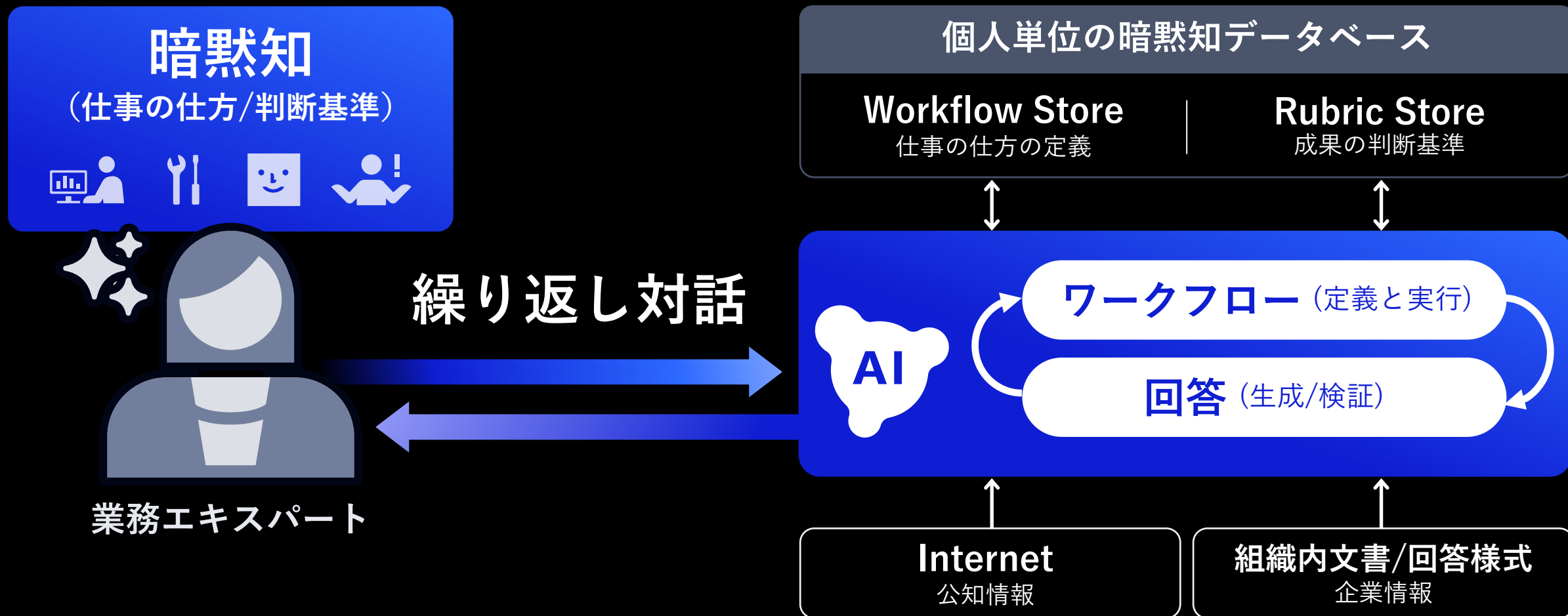
暗黙知のAIモデル化へ向けて

暗黙知は、個人の行動や習慣に加え、心身や直感にも存在
経験・体験に基づく知識はデジタル化が可能



暗黙知(Implicit)のAIモデル化技術 -業務パートナーの自律構築システム-

人とAIの会話から暗黙知を獲得し、仕事のスタイル/ノウハウを学習
人の評価により、仕事の出来具合を継続的に改善



企業・組織の競争優位をもたらすためには？



サイバー空間の
デジタルデータ



人・組織の
暗黙知データ

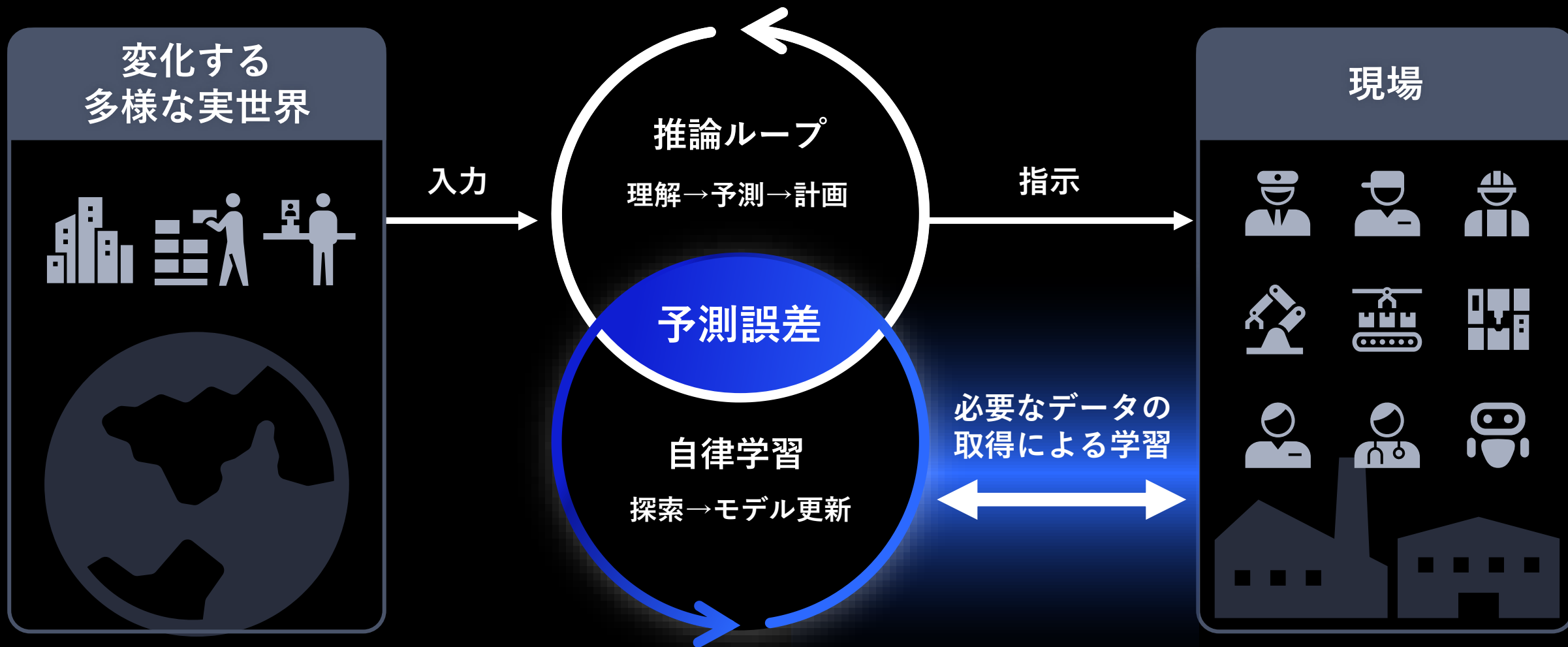


実世界・現場の
データ

実世界/現場のAIモデルには、能動的なデータ取得・学習が必要

事前に、膨大な実世界の情報を学習することは困難

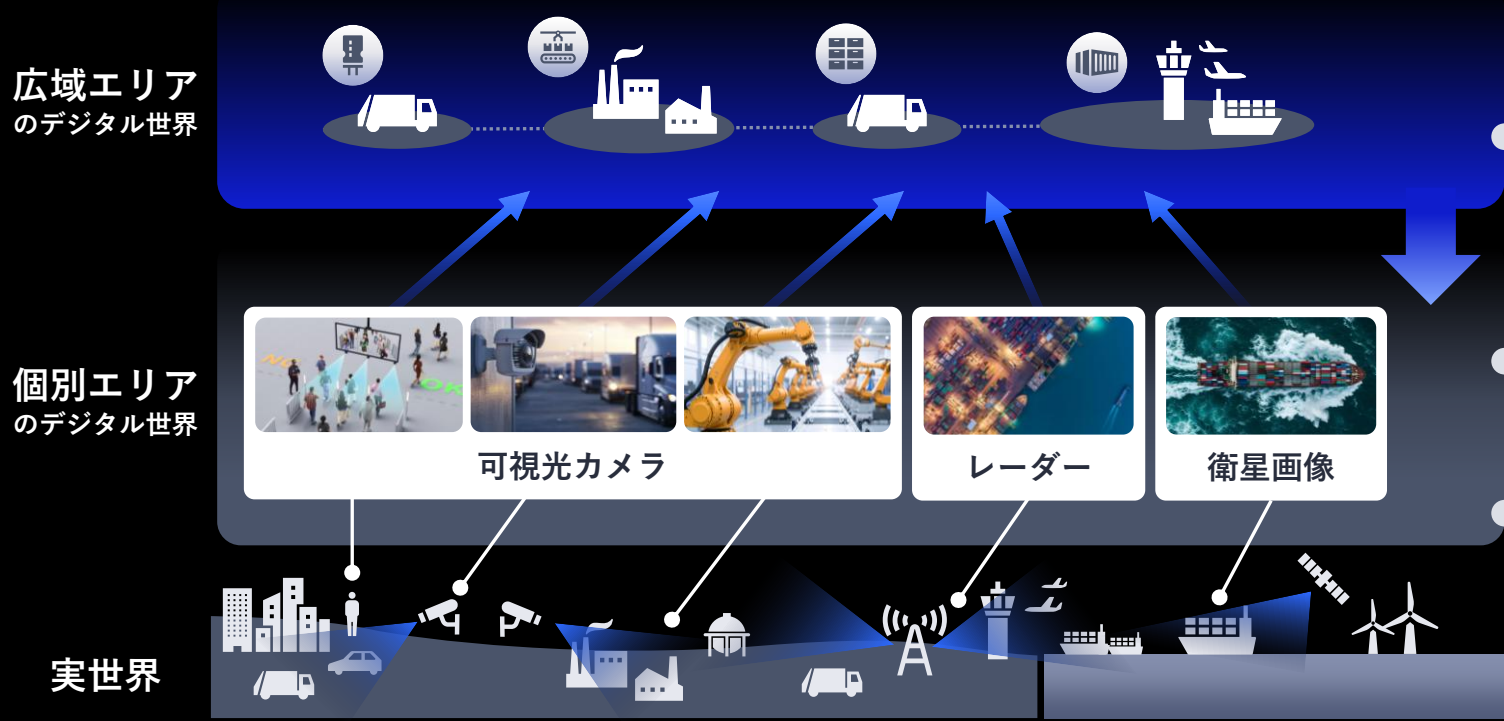
AIによる予測誤差の検知・データ取得・自律的な学習により、実世界のモデル化が可能



実世界/現場のAIモデル化を実現するNECの強み

実世界/現場のAIモデル化には、良質なセンシングデータの取得、取得データの効率的な通信、取得データの位置・人/物体単位の照合等が必要。さらに、これらを統合できるのがNECの強み

個別エリアから広域エリアまで俯瞰的に詳細に把握



NECの強み

AI・シミュレーション技術

- 生体認証
- 位置照合(地上画像×衛星画像)
- 物体中心の世界モデル

ネットワーク技術

- アプリケーションウェアICT制御

センシング技術

- 衛星リモートセンシング(SAR※)
- 光ファイバセンシング
- バイタルサイン推定 (生体認証)

※: Synthetic Aperture Radar

顔・虹彩マルチモーダル生体認証

Bio-IDiom

展示
3

立ち止まる必要がなくストレスフリーな認証

世界初

3m

離れた場所でも1台の小型カメラで動いている人を認証



1億人を見分ける精度



顔認証

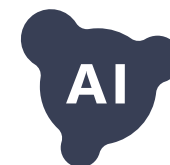


虹彩認証

世界No.1*

×

多様な環境に適用する基盤モデル



知識の獲得

環境変動があっても個人の特徴を抽出可能



眼鏡



日照



目線

...

※: 米国国立標準技術研究所(NIST)による顔認証ベンチマークテストでこれまでにNo.1を複数回獲得
NISTによる評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービス、企業を推奨するものではありません。

NEC、顔認証に続き虹彩認証でも米国国立機関による精度評価で第1位を獲得し、2冠を達成。(2021年9月2日): プレスリリース | NEC

AI産業革命における勝ち筋



サイバー空間の
デジタルデータ

AI-Readyデータの
整備



人・組織の
暗黙知データ



実世界・現場の
データ

企業/組織固有の知見をAIモデルとして
コピーし組織的に拡大



組み合わせにより

競争力の大幅な強化 + 知識創造サイクル[※]の加速

※: 野中郁次郎氏提唱

AIの進化がもたらす新たなセキュリティリスク

ITシステムへの攻撃

攻撃拡大と
セキュリティ人材不足



展示
1

次世代サイバーセキュリティサービス

「CyIOC」

サイオック

Agentic AIへの攻撃

実装拡大する
エージェントを守る



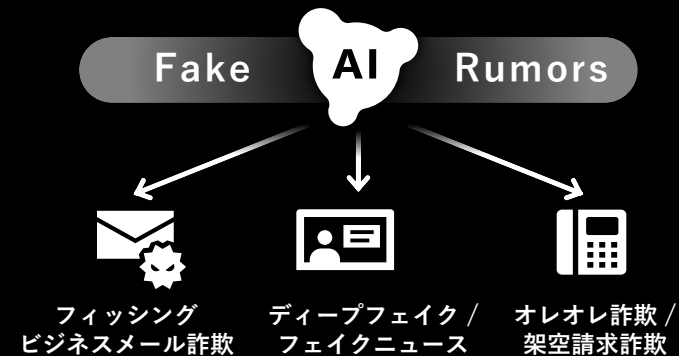
- ← 外部ツール悪用
- ← 目標の不正操作
- ← 乗っ取り

技術強化

+
パートナー協業

人の認知を突いた攻撃

偽情報の生成/拡散
の容易化



フィッシング
ビジネスメール詐欺

ディープフェイク/
フェイクニュース

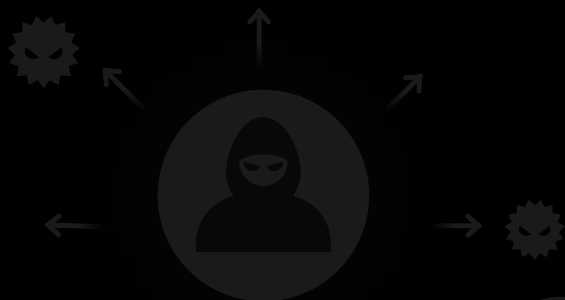
オレオレ詐欺/
架空請求詐欺

研究開発

AIの進化がもたらす新たなセキュリティリスク

ITシステムへの攻撃

攻撃拡大と
セキュリティ人材不足



展示
1

次世代サイバーセキュリティサービス
「CyIOC」
サイオック

Agentic AIへの攻撃

実装拡大する
エージェントを守る

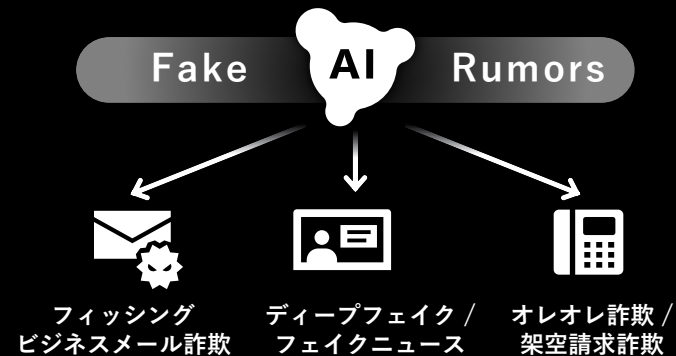


- ← 外部ツール悪用
- ← 目標の不正操作
- ← 乗っ取り

技術強化
+
パートナー協業

人の認知を突いた攻撃

偽情報の生成/拡散
の容易化



研究開発

人の認知を突いた攻撃

偽情報の生成・拡散がAIで容易化し、人の認識や行動・意思決定に悪影響を及ぼす印象操作が社会問題に

偽情報のリスク拡大と社会への影響

リスクの拡大

WEF※1の「グローバルリスク報告書※2」にて、偽情報が
2年連続で短期的リスクの最上位に

選挙や災害時に深刻な影響をもたらす事例を確認※3

実社会への影響 -例-

偽情報

影響

偽音声による
選挙の意思決定を
妨害する働きかけ

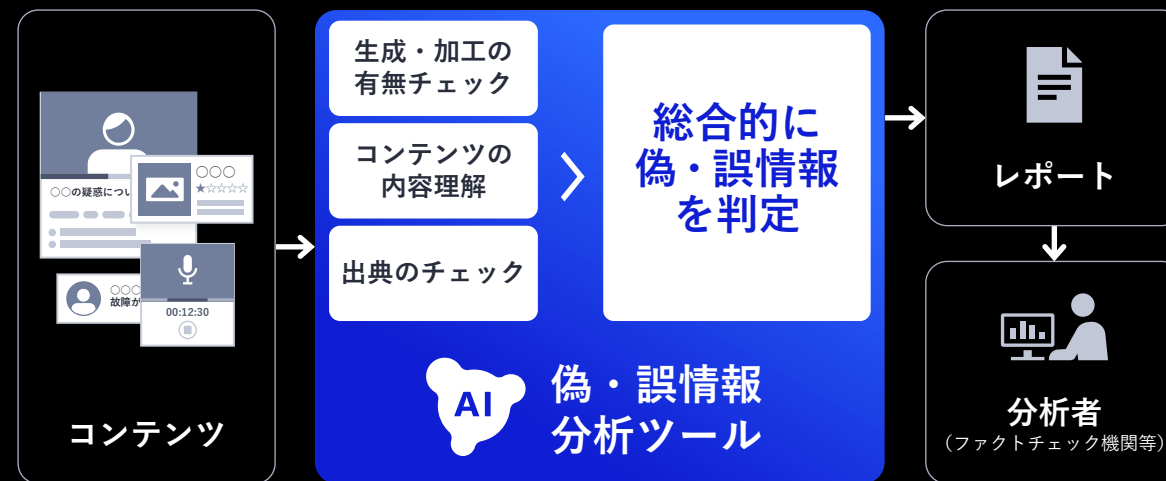
投票を抑制させる妨害
選挙の公平性に疑念

※1: World Economic Forum ※2: <https://www.weforum.org/publications/global-risks-report-2025/>
※3: 総務省 令和6年度情報通信白書

AIを活用した 偽・誤情報の対策技術

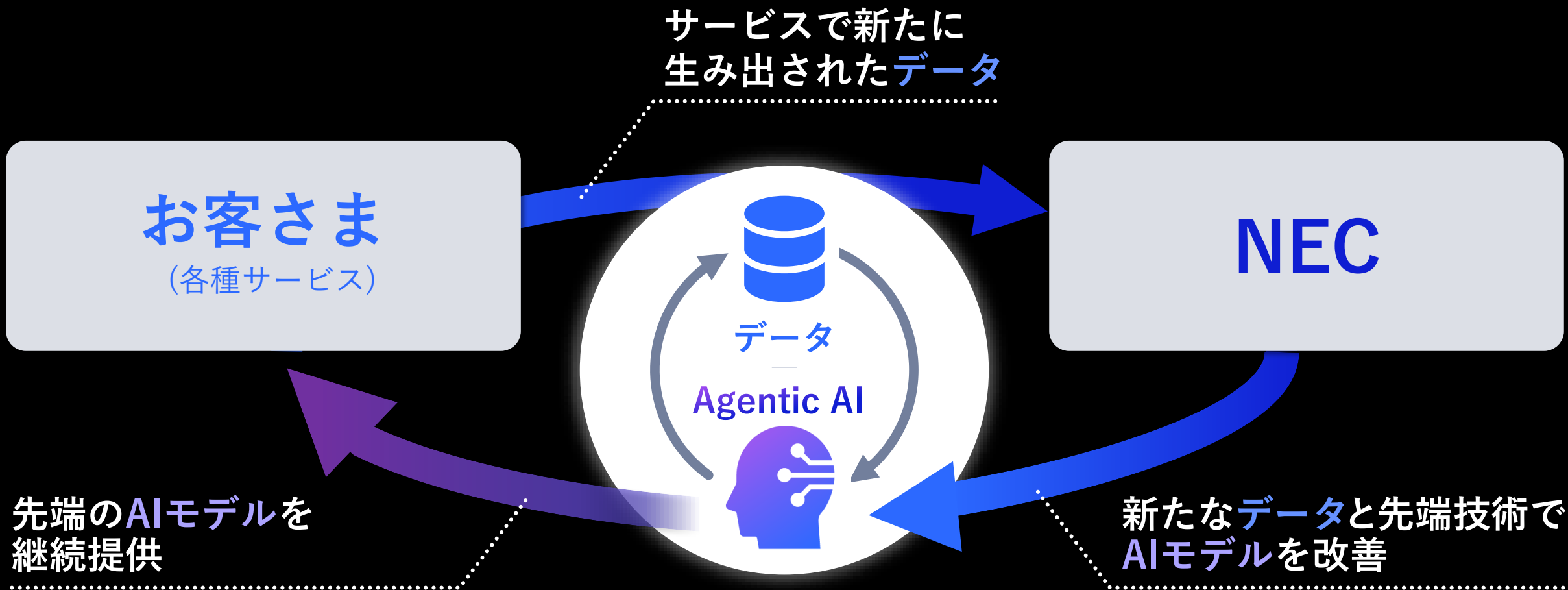
2025年8月21日 発表

インターネット上のコンテンツをAIが分析、
偽・誤情報を判定し、内容の真偽を評価



お客さまの競争力の強化へ向けて

継続的なイノベーション創出には、データ共有によるAIモデル改善が重要。これは様々な業界で起こりうる。NECはデータとAIとの掛け算で、企業のトランスフォーメーションを加速



技術ビジョンと最新の研究開発の取り組み

AI

NEC開発のAIコア技術「cotomi」を含む先進技術で
AIによる産業変革をリード

Security

国家安全保障レベルのセキュリティ技術と高度専門人材が
日本のデジタルインフラを守る

プラットフォーム技術

AI等の多様なアプリケーションを高効率かつ高速に処理するインテリジェントプラットフォーム、及び
信頼性を高めるセキュアネットワークを実現し、社会課題を解決

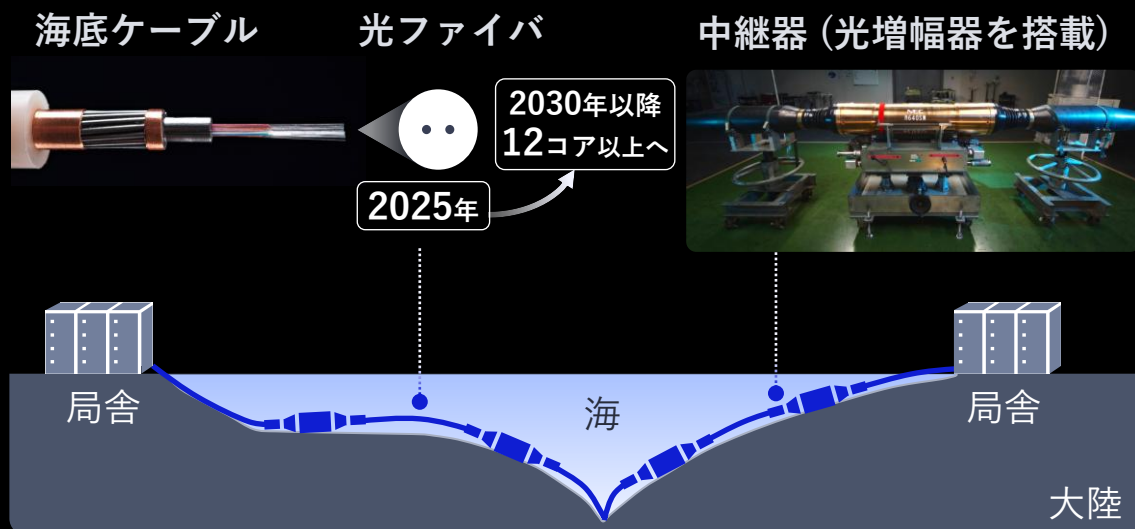
通信の大容量化を実現する海底ケーブル伝送の技術進化

社会課題

年率40%でトラフィックが増大、通信容量の拡大が必要

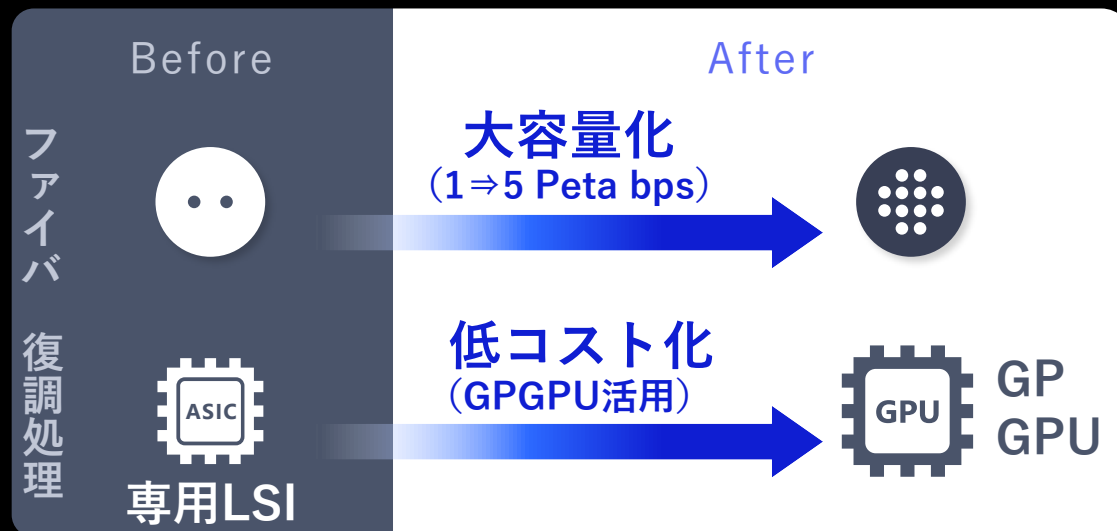
マルチコア伝送システムを世界初※1商用化

マルチコア伝送を実現する光増幅により
中継器サイズを維持したまま大容量化を実現



光信号処理をGPGPU※2により実現し 社会実装を加速

専用LSIの開発を待たずに、低コストで
今後のマルチコア数の増加に対応可能



※1: NEC Corporation LinkedIn NEC Corporation Facebook マルチコアファイバー技術で海底ケーブルを強化 | Google Cloud 公式ブログ

※2: General Purpose GPU

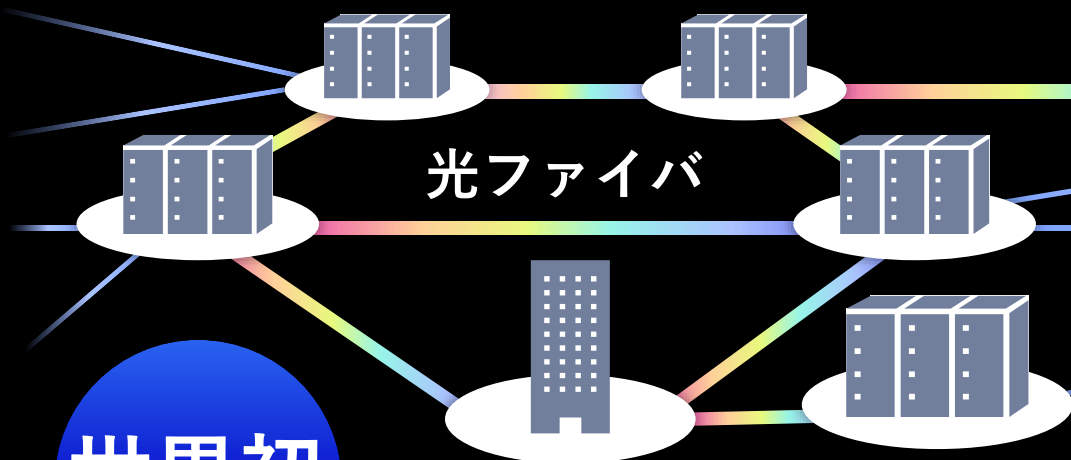
量子暗号の領域を広げるセキュアネットワークシステムの構築

社会課題

従来型暗号は、2040年頃に量子コンピュータによって解読可能になるとされている

理論的に安全なネットワーク

量子鍵配送(QKD^{※1})



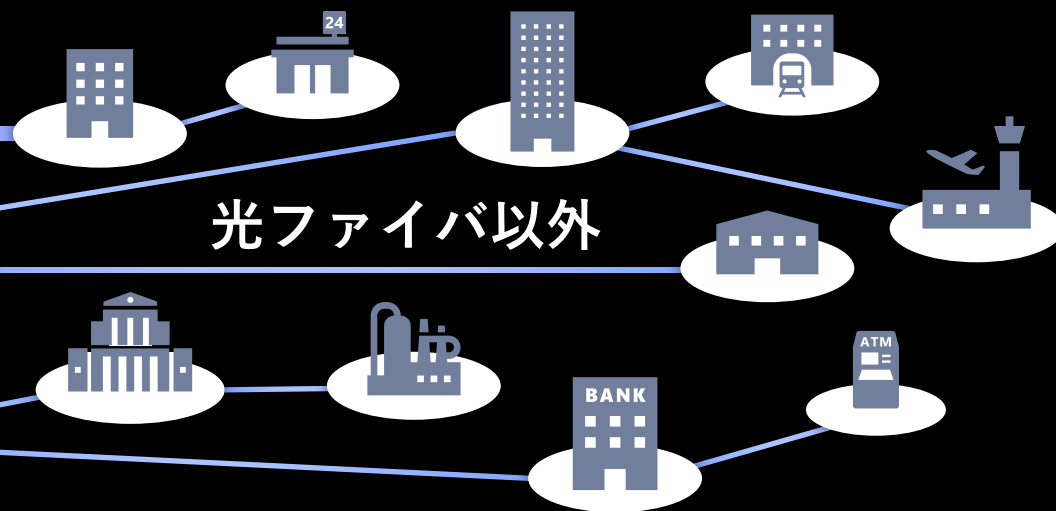
世界初

基幹系光ネットワークを想定した環境下にて、
高速データ通信と鍵配送の多重伝送に成功

2025年7月28日 発表

量子暗号に次ぐ安全性

耐量子計算機暗号(PQC^{※2})



QKDとPQCの組み合わせにより
広域なセキュアネットワークシステム実現へ

※1: Quantum Key Distribution

※2: Post-Quantum Cryptography

光コンピューティングの実現に向けて研究開発をリード

社会課題

AIのコンピューティング需要の急増により電力問題が大きな課題
新しいコンピューティングアーキテクチャへの変革が求められている

実験室環境で有効性を実証 4件の論文がNature※で採択

実証チップ(NEC Laboratories America, Inc.とPrinceton大学との共同研究)



ニューラルネットワーク、
行列ベクトル積などの処理を光で実現

Huang, Chaoran, Blow, Eric, et al. "A silicon photonic-electronic neural network for fibre nonlinearity compensation." Nature Electronics 4.11 (2021): 837-844.

提供価値

エネルギー

コスト

遅延

2桁改善

AI処理・通信処理等で大幅な電力改善・性能改善の可能性を示唆

※: A silicon photonic-electronic neural network for fibre nonlinearity compensation | Nature Electronics Broadband physical layer cognitive radio with an integrated photonic processor for blind source separation | Nature Communications
Real-time photonic blind interference cancellation | Nature Communications A system-on-chip microwave photonic processor solves dynamic RF interference in real time with picosecond latency | Light: Science & Applications

事業部門との統合による新たな研究開発体制

ビジネスユニット協働型R&D体制にて先端技術の製品化を加速



AI

2024年8月～

デジタルプラットフォームサービス ビジネスユニット
AIテクノロジーサービス事業部門

Corporate SVP
兼 AI Technology Officer 山田 昭雄

Security

2025年4月～

NECセキュリティ株式会社
AIセキュリティセンター

執行役 Corporate EVP 兼 CSO
兼 NECセキュリティ株式会社 代表取締役社長

中谷 昇

先端技術はNECの今と未来の競争力の源泉

BluStellarを通じた
現事業への貢献

未来へ向けた
新たな成長事業の創出



NECの強みの技術



AI

Security

プラットフォーム技術

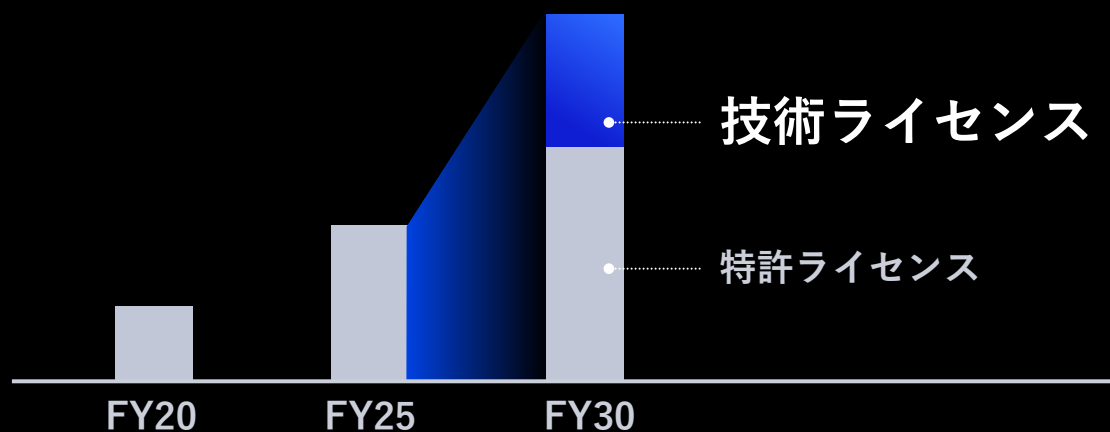
知財ライセンス事業

「技術ライセンス」を強化。2030年度にはライセンス収益2倍を目指す

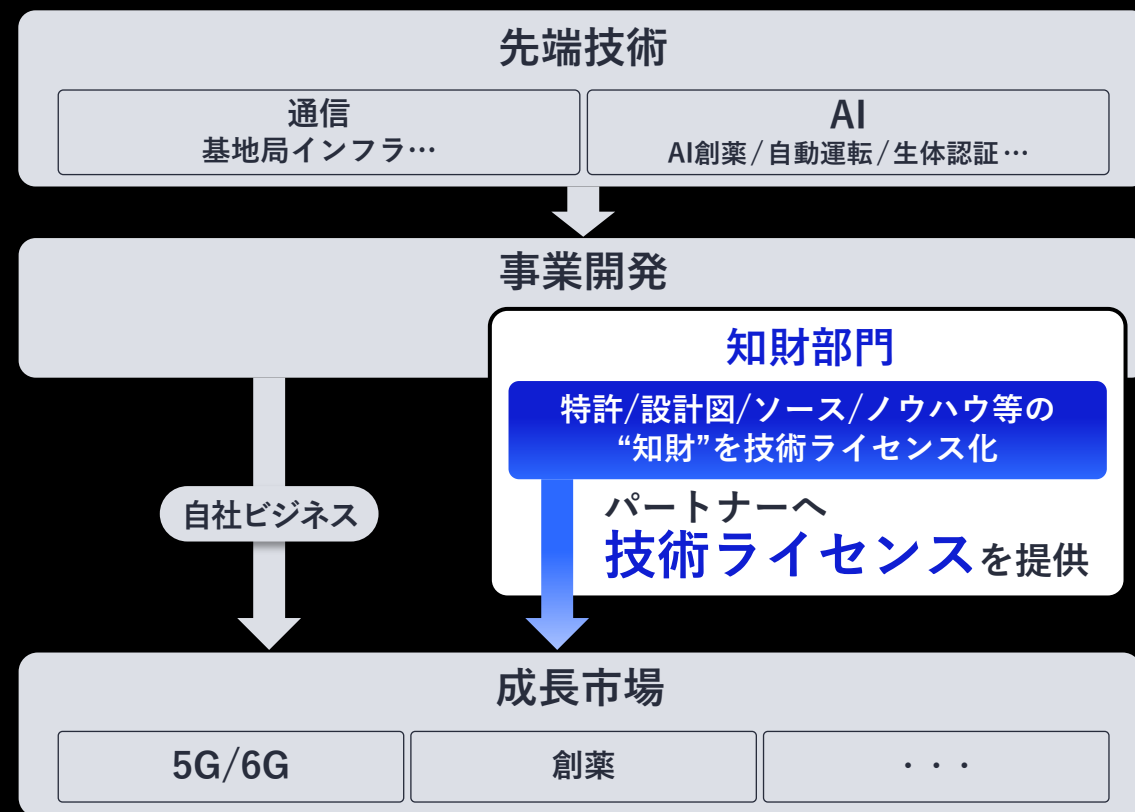
知財事業の計画

特許および技術ライセンス収益の合計

2倍に増加



技術ライセンスの事業化



AI創薬事業

個別化がんワクチンは治験で着実な成果。さらに、より汎用性のある共通がんワクチン開発に着手。



個別化がんワクチン

治験

長期追跡による有望な
エビデンスの更なる蓄積

2025年6月2日発表

2025年11月5日発表

頭頸部がん向け個別化ネオアンチゲンワクチン
無再発状態が24か月から30か月(中央値)へ延長
本ワクチンの作用機序について科学的根拠を示唆

投与無し

TG4050 (ワクチン) 投与

通常30%の
再発予測



24か月^{※1}
無再発を維持

6か月

30か月^{※1}無再発を維持
(2025年現在)



共通がんワクチン

基礎
研究

全ゲノム解析を基盤とした
共通がん抗原候補の同定

2025年11月28日発表

三者共同研究^{※2}契約を締結
がんワクチン治療の平準化を目指した
off-the-shelf型ワクチンの開発

がん研究会
全ゲノムデータ



質の高い
臨床情報と紐づいた
ゲノムデータの保有^{※3}

NEC
独自AI



未知のゲノム領域
からの共通がん
抗原候補探索

大鵬薬品
独自の評価モデル



候補薬品の
早期絞込

NEC 先端技術コンサルティングサービス(2024年11月- 提供)

上流である研究開発からNECの専門家が最先端のAI技術や高度な知見を駆使し、お客様と様々な難課題を解決

研究開発

概念設計

先端技術の導入検証

現場における
技術導入支援

製造

マーケ
販売

サービス
保守

下流に至るまでの業務プロセス変革へ



先端技術
研究者



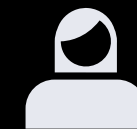
材料開発
研究者



DX戦略
コンサルタント



データ
サイエンティスト



システム
エンジニア

第一号の大型案件：世界で競争力のある高度化研究開発基盤の構築へ

2025年11月26日発表



- 生成AIを用いた先進的な新材料の高速探索
- 疑似量子アニーリングを用いた
タイヤ材料の高速・高精度な配合設計

先行的な
取り組みを展開
(材料分野・他領域)

NECはAI産業革命期において
先端技術の実装により社会価値創造をリードします

AI

Security

プラットフォーム技術

NEC

\Orchestrating a brighter world

注意事項

< 将来予想に関する注意 >

本資料に記載されているNECグループに関する業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。

これらの判断および前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。

また、かかる将来に関する記述はそのとおりに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 製品・サービスの品質、安全性等に関する問題の発生
- ・ サイバーセキュリティ・リスク
- ・ 優秀な人材を確保できないリスク
- ・ 従業員を含めたバリューチェーン上の人権課題への不適切な対応
- ・ 贈収賄行為や不正会計、個人情報保護法等の法令違反など、重要な不祥事の発生
- ・ 気候変動、自然災害、環境問題等の影響
- ・ 為替・金利変動等の経済情勢の変化
- ・ 企業買収・事業提携が奏功しないリスク
- ・ 事業展開している国・地域における政治・社会情勢
- ・ 技術革新による影響や知的財産権に関するリスク
- ・ 自然災害やパンデミックの発生等のハザード・リスク
- ・ 競争法、輸出管理法等の違反等に関するコンプライアンス問題の発生

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。

新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。

また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。